



Exhibition_高田K子_北海道図絵 札幌天神山三十六景

会期：2025年1月4日(土) 14:00 - 8日(水) 21:00

会場：さっぽろ天神山アートスタジオ 1F 展示スペース

入場・参加無料 参加者数：901名

アーティストについて：高田K子/Keiko Takada

分野：美術 活動拠点：北海道

展覧会について

高田K子は、身近な自然や日常の光景、書物や言葉の断片をカメラに収めた作品の制作に取り組んでいる美術作家。展示する場所の特性をくんだ、その場でしか成立しないインスタレーションを目指す為、その土地やその場所で制作されることが多く、会場の環境や特性に合わせて映像や音を用いるなど表現は多岐にわたる。会場では、札幌の天神山緑地とその周辺を撮影した一連の写真を一つの作品として展示する。このプロジェクトは、2009年から取り組む「北海道図絵」シリーズの一つで、天神山アートスタジオでは、北斎の「富岳三十六景」をヒントに、同会場の付近を中心に撮影したものが展示される。作者は「イベント」や「芸術鑑賞の場を作ること」を、市民の皆さま1人1人の「芸術」と「社会活動」をつなぐ場と考えている。この『三十六景』シリーズは積極的に個展開催し、他の都府県や市町村・国内をはじめ、世界中で挑戦できればと展望していたのだが、2019年の秋に公開後「新型コロナウイルスの世界的流行による人流抑制」が続き、以後のプロジェクト活動を自粛していた。コロナ禍での人流抑制が終了した今、回復しつつある社会活動の中で、作者は展示活動の再開も他地域での展開も再始動したいと考え今回ここ天神山での滞在制作を選んだ。展示は、天神山アートスタジオでの短期間での開催となるがぜひ足を運んでほしい。



水曜シェアリング Michael Greave/マイケル・グレイブ、岡本奈香子/Nakako Okamoto

会期：2025年1月15日（水 18:00-21:00）

会場：天神山アートスタジオ 1F 談話交流スペース

入場無料 来場者数：10名

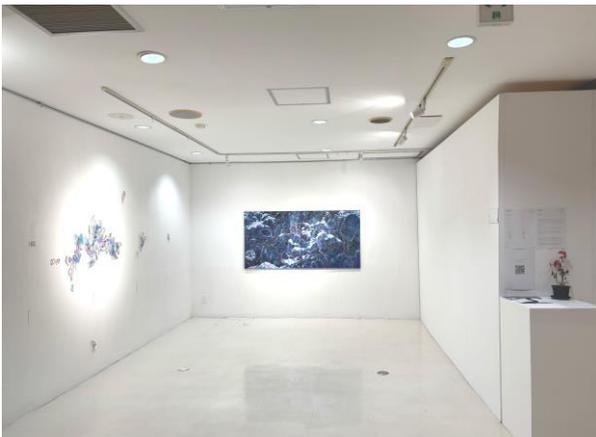
水曜シェアリングとしてマイケル・グレイブがこれまでや滞在中に制作した作品についてのトーク、岡本奈香子がワークショップ「コックリさんドロイング」を行いました。来館していた高校生も飛び入りで参加。ワークショップの成果は岡本の参加する展覧会（大阪、1/29-2/15）で展示される予定です。

アーティストについて：Michael Greave/マイケル グレイブ

分野：美術、音楽、写真 活動拠点：オーストラリア

アーティストについて：岡本奈香子/Nakako Okamoto

分野：美術 活動拠点：日本



Exhibition _キム・ソヨン/Soyoung Kim_ 冬の模様 Patterns of Winter

会期：2025年1月18日（土） -1月26日（日） 9:00-21:00

会場：天神山アートスタジオ 1F 展示スペース、和室

入場無料 来場者数：1,757名

アーティストについて：キム・ソヨン/Kim Soyoung

分野：美術 活動拠点：韓国

展覧会について

長い歳月をかけて手から手へと受け継がれてきた模様がある。これまでのすべての季節、出来事、感情の交流が一つの模様に圧縮されてきた。私はあらゆるものを平らにするこの巨大な力について考えている。それは見えもしないし感じもしないが、いつの間にかあなたの体積と重さを取り除く。時間を取り除く。あなたの喜びと苦痛を取り除く。そしてその現場には点・線・面が残る。ひょっとしたらそれは何かの柄をしているかもしれない。私はふと気になった。この季節が終わったところにはどんな模様が残るのか。そして、それはどんな色の血を流しているのか。

特定の時間と空間、そして物語が模様に収斂される過程を絵とインスタレーションで見せ、秘密を閉じ込める場所としての模様について思惟する。



Art&Breakfast Day 2025 年 1 月

会期：2025年1月26日（日）10:30-12:00

会場：天神山アートスタジオ 1階

入場・参加無料 来場者数：26名

滞在アーティストや市民の方も大勢の参加がありました。展覧会開催中のキム・ソヨンが、自身の作品について紹介しました。



Exhibition_高田K子_北海道図絵 札幌天神山三十六景 NEW

会期：2025年1月4日(土) 14:00 - 8日(水) 21:00

会場：さっぽろ天神山アートスタジオ 1F 展示スペース

入場・参加無料 参加者数：901名

関連イベント

- ・茶話会「いっぷくのお茶をあなたに」2025年2月2日(日) 14:00~15:00
- ・アーティストトーク「私の北海道～風景と視界の交わる場所」2025年2月9日(日) 14:00
ゲスト:寺嶋弘道(北海道文化財保護協会理事、元 北海道立近代美術館学芸副館長)

アーティストについて：高田K子/Keiko Takada

分野：美術 活動拠点：北海道

展覧会について

高田K子は、身近な自然や日常の光景、書物や言葉の断片をカメラに収めた作品の制作に取り組んでいる美術作家。展示する場所の特性をくんだ、その場でしか成立しないインスタレーションを目指す為、その土地やその場所で制作されることが多く、会場の環境や特性に合わせて映像や音を用いるなど表現は多岐にわたる。会場では、札幌の天神山緑地とその周辺を撮影した一連の写真を一つの作品として展示する。このプロジェクトは、2009年から取り組む「北海道図絵」シリーズの一つで、天神山アートスタジオでは、北斎の「富岳三十六景」をヒントに、同会場の付近を中心に撮影したものが展示される。作者は「イベント」や「芸術鑑賞の場を作ること」を、市民の皆さま1人1人の「芸術」と「社会活動」をつなぐ場と考えている。この『三十六景』シリーズは積極的に個展開催し、他の都府県や市町村・国内をはじめ、世界中で挑戦できればと展望していたのだが、2019年の秋に公開後「新型コロナウイルスの世界的流行による人流抑制」が続き、以後のプロジェクト活動を自粛していた。コロナ禍での人流抑制が終了した今、回復しつつある社会活動の中で、作者は展示活動の再開も他地域での展開も再始動したいと考え今回ここ天神山での滞在制作を選んだ。展示は、天神山アートスタジオでの短期間での開催となるがぜひ足を運んでほしい。



天神山、また、まちにいく。

会期：2025年2月8日（土）13:00-17:00（イベント中の出入り自由）

会場：SCARTS 2階 ギャラリー

入場無料 来場者数：38名

レポートより一部抜粋・編集

「北海道を拠点とするアーティストの海外での滞在制作の報告会」と「北海道外のアーティストの札幌での滞在制作の進捗報告」の2部構成でトークを行いました。天神山アートスタジオで、このスカーツでのイベントを知り、わざわざ会場まで足を運んでくれたご近所の方や、「アーティストからいろいろな国での体験を聞いたのは面白かった」と感想をいってください、後日、天神山アートスタジオにもまた顔をだしてくれて、「次のアーティスト・トークはいつやるんですか？そういう情報をどうしたら入手できるの？」と、アーティストの活動に興味を感じてくれた方もいらっしゃいました。

■ タイムテーブル：

13:00 【パート1】札幌のアーティストがみた世界

13:10 台湾でのアーティスト・イン・レジデンス by クスミエリカ

14:00 ネパールでのアーティスト・イン・レジデンス by 千葉 麻十佳 ◇ 聞き手：小林 大賀（映像作家）

15:15 【パート2】札幌でアーティストはなにをする？「国際公募 AIR プログラム招聘アーティストによるアーティスト・トーク

15:25 冬木 遼太郎

16:00 ギャノン・マーフィー

17:00 終了



Art&Breakfast Day 2025年2月

会期：2025年2月16日（日）10:30-12:00

会場：天神山アートスタジオ 1階

入場・参加無料 来場者数：26名

滞在アーティストや市民の方も子供から大人まで幅広い参加があり、アーティストの音楽や交流を楽しみました。



日曜日のスタジオ 榎木陽子のオープンドア

会期：2025年2月16日（日）13:30-17:30頃

会場：天神山アートスタジオ 1階 入場・参加無料 来場者数：15名

アーティストについて：榎木 陽子/Yoko Enoki

分野：美術 活動拠点：日本

イベントについて

私は、自分の生活や人との対話を題材として作品を制作している作家で主に筆や木炭で絵を描いています。前回訪れた際に、冬の天神山には雪に囲まれた集中した時があることを発見し、また制作のためにやってきました。2025年2月16日（日曜日）午後の「5分」の時間を地球の札幌にあるさっぽろ天神山アートスタジオで私と交換して下さい。お茶など用意してお待ちしています。

レポートより一部抜粋・編集

滞在アーティストの榎木陽子が、市民との交流を行いながら、次の作品のリサーチを含めたワークショップを実施。主なワークショップは2つ。「5分間の交換」では榎木さんと参加者が1対1で向き合い、「参加者が最近祈ったことを紙に書く時間」と「陽子さんが祈っていることを思い出している人を描く時間」を交換する。お互いの違うことをしている時間を5分間を交換するワークショップ。「13秒のトレース」は能登・輪島に最初の地震がきてから、二度目の地震がくるまでのインターバルの時間。輪島では二度目の地震で火事があり、その後2024年9月の奥能登豪雨で大洪水になり、地震の爪痕も瓦礫も今までの風景も流れてしまった。失ってしまった風景を、書き留めたいという想いから出発したワークショップ。（そして反語的にはあるけれど、13秒では多くの事が書き留めきれないことも体感できる）



国際公募 AIRプログラム_ギャノン・マーフィーによる成果展示 @SOUTH 2 WEST8 SAPPORO

展示期間：2025年3月3日（月）～30日（日）*好評につき現在も展示中

会場：SOUTH 2 WEST8 SAPPORO（札幌市中央区南2条西8丁目2-1）

入場・参加無料

アーティストについて：

Gannon Murphy /ギャノン マーフィー（美術）：活動拠点 アメリカ

展示について（レポートより一部抜粋）

国際公募 AIRプログラムに応募したときすでに、ギャノン・マーフィー（自身も釣りを愛する）は、NYで出会った憧れのブランドだった SOUTH2 WEST8 といっしょに本が作りたい！と強い希望をもっていました。プログラムが始まってすぐ、SOUTH2 WEST8 SAPPORO のディレクター三浦氏とお会いしてその要望を伝えたところ、「協力します！」と懐の深いお返事をいただきました。その後、何度もショップに伺って、SOUTH2 WEST8 SAPPORO の世界観を何度も染み込ませ、ショップスタッフの方々にも撮影モデルになってもらって、コンテンツを制作していきました。たった1冊の本ですが、「マガジンのように作ってみたい」というギャノンの希望を、エプソン・ソリューションセンターがプロ用印刷機を使わせてくださり叶えることもできました。本の表紙には、北海道の素材を使いたいということで、FURNITURE DESIGN AGURA がオリジナルのエゾシカバッグを作っている材料を特別に分けていただき、そのきれいなグリーンに染まった鹿革を使っています。



国際公募 AIRプログラム_バイバイパーティ

会期：2025年3月5日（水）19:00-21:00頃（出入り自由）

会場：さっぽろ天神山アートスタジオ 1F

入場・参加無料 参加者数：42名

アーティストについて：

Gannon Murphy / ギャノン マーフィー（美術）：活動拠点 アメリカ

冬木 遼太郎/Ryotaro Huyuki（美術）：活動拠点 日本

レポートより一部抜粋・編集

60日に及ぶ国際公募 AIR プログラムの招聘アーティストギャノン マーフィー、冬木遼太郎のプログラム終了を祝して、「バイバイパーティー」が行われました。

パーティー後半では60日間のAIRプログラムで、2人がそれぞれ行った、リサーチ、制作についての発表を行いました。ギャノンさんは今回、SOUTH2 WEST8 SAPPORO に協力をいただき、本を製作しました。モデルを撮った写真や、コラージュなど、彼のこだわりが詰まった本となっています。製作した本は3/30(日)まで、SOUTH2 WEST8 SAPPORO 店内にて、ご覧いただけます。冬木さんは今回、北海道の移動についてのリサーチで装蹄師の方や各施設を尋ねたりしました。今後も今回の滞在をもとに作品制作を進めていき、また来札予定とのこと。



Exhibition_雪の地図 /The Snowy Map _ リン ペイイン/林佩穎 Lin Pei Yin

会期：2025/03/14(金)～2025/03/19(水) 9:00～21:00

会場：天神山アートスタジオ 1F 和室

入場無料 来場者数：735名

展覧会「雪の地図 /The Snowy Map」について

「雪の地図」という名前は韓国の詩に由来するが、この場所へ来て、私はその詩のエッセンスを感じた。穏やかな白い雪の下には、生き生きとした生命が隠れています。ここを散歩していると、真っ白な景色、足元で見つめる植物、そして空気の冷たさが、私に静けさをもたらしてくれる。そんな気持ちを作品を通して伝えることが出来ればと思っています。

作品をご覧になる方々の心が安らぎを感じていただければ幸いです。

アーティストについて Lin Pei Yin/リン ペイイン (美術)：活動拠点 台湾



Art&Breakfast Day 2025年3月

会期：2025年3月30日(日) 10:30-12:00

会場：天神山アートスタジオ 1階

入場・参加無料 来場者数：20名

滞在アーティストのピーター&ナタリーが、歩いて日本縦断をし本を制作した経験などをシェアしました。



日曜日のスタジオ 小林大賀メキシコ滞在報告&おしゃべりの会

会期：2025年3月30日（日）12:30-14:30頃

会場：天神山アートスタジオ 1階 交流スタジオA 入場・参加無料 来場者数：15名

アーティストについて：小林大賀 / Taiga Kobayashi

分野：美術、映像 活動拠点：札幌市南区

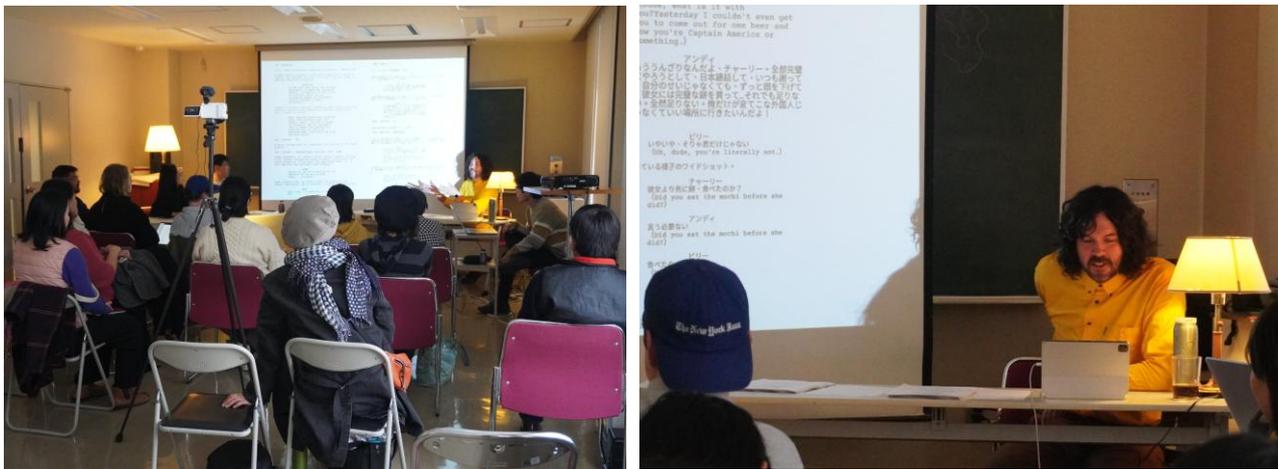
イベントについて（アーティストより）

「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の支援を受け、2023年9月から11ヶ月間メキシコにて滞在制作を行いました。現地で制作した、ウィチオル族の巡礼を追ったドキュメンタリー「巡礼の季節 -ヒクリ、8000と20年」の制作過程やその他のリサーチについて、映像資料を交えてのプレゼンテーションと座談の会です。（ドキュメンタリー本編の上映ではありません）

この滞在は精神文化、特に克蘭デーロと呼ばれる治療師の活動を取材対象としたものでした。先住民文化や宗教、伝統的祭事についての記録を中心にしながら、地方都市オアハカで栄える版画文化と人権運動、刑務所内でのワークショップの関連にも触れてみます。今後、海外研修を行ってみたい方の参考にもなればと思います。

主なトピック

- ・ほっかいどう未来チャレンジ基金での留学について ・長編ドキュメンタリー制作について
- ・グアダルーベ聖母寺院の巡礼と奉納画 ・チャムーラ教会の風習
- ・オアハカの版画文化と人権運動、刑務所の工房（受刑者の方々から寄贈された作品を数点展示します）
- ・オアハカの村のカーニバル



EDWON/エドワン 公開台本読み合わせ

会期：2025年3月30日（日）14:30-16:30

会場：天神山アートスタジオ 1階 交流スタジオA 入場・参加無料 来場者数：15名

アーティストについて：EDWON/エドワン

分野：映像 活動拠点：日本

イベントについて

エドワンは滞在中、映像作品のための脚本の執筆活動を行ってきました。完成した脚本を元に、スタジオのアーティストやスタッフもキャラクターになり、公開読み合わせを行いました。